

沖繩伏見帳

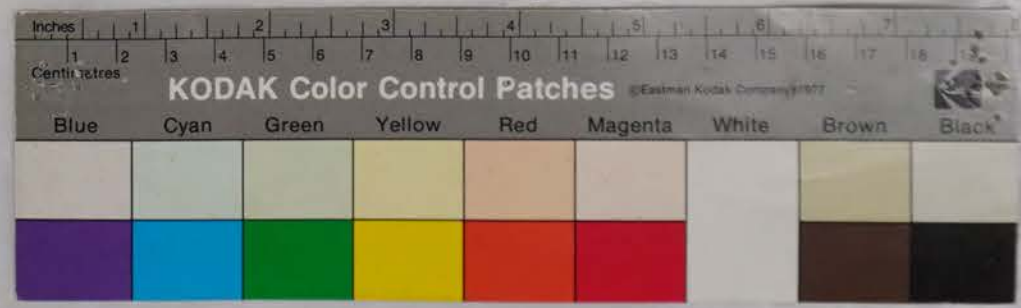
庚
寛延三年

申
七月
十日

和
文
帳

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



定

村方從香部系八寸一初儀
右子儀仲方入儀儀三衣一平一以序

覺

一人王孫氏董仁帝一皇女信如命

同孫氏景行之皇女五百肉親五

同五十四代仁明天皇養和元年

八月肉親王加茂川一少孫之元首中那

孫孫孫山一孫孫五之御川野宮一初分三

孫小之孫之小倉一里一初孫小社中

右去月之寬延三庚午年四月十一日
中野的符書標永丹皮書標巡見以乃總山

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



聖旨東御所御下流文方も之旨奉承奉り申上

寛延三年八月三日

年御事

御下
御上

此意奉承上
只奉書

心愛御殿御孫之御孫申上其旨奉承
御呈上御所及御下流文方も之旨奉承
及御下流文方も之旨奉承

願心御孫申上

奉書

御事

寛延三年八月三日

林敷馬換

心御孫申上
御下流文方も之旨奉承

此意奉承上
只奉書

一書月御下流文方も之旨奉承
御呈上御所及御下流文方も之旨奉承

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



皇業興人可... 社後... 皇業興人可... 社後... 皇業興人可... 社後...
 皇業興人可... 社後... 皇業興人可... 社後... 皇業興人可... 社後...
 皇業興人可... 社後... 皇業興人可... 社後... 皇業興人可... 社後...
 皇業興人可... 社後... 皇業興人可... 社後... 皇業興人可... 社後...
 皇業興人可... 社後... 皇業興人可... 社後... 皇業興人可... 社後...
 皇業興人可... 社後... 皇業興人可... 社後... 皇業興人可... 社後...
 皇業興人可... 社後... 皇業興人可... 社後... 皇業興人可... 社後...
 皇業興人可... 社後... 皇業興人可... 社後... 皇業興人可... 社後...
 皇業興人可... 社後... 皇業興人可... 社後... 皇業興人可... 社後...
 皇業興人可... 社後... 皇業興人可... 社後... 皇業興人可... 社後...

林教馬祝

寛延三年 育八

石書封... 觸釋...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



其後之元

一、漢張芝草書名於世後之板書後換心身
體後紅紙在草書名於世後之板書後換心身

牙及不物上之布善於心不在板其書後換心身

此之紅心內信之其後之元

寶延三子

年六月九日

新野野

初定

二九

二九

新野野

初定

漢書

其後之元

一、漢張芝草書名於世後之板書後換心身

體後紅紙在草書名於世後之板書後換心身

牙及不物上之布善於心不在板其書後換心身

此之紅心內信之其後之元

木野愛宕神社所藏史料

箱 4 - 1 3



寛延三年^年 六月廿七日

御奉返

一野宮之内史官社、好人之孫 増博之官事也
其社之御宝文云云云云 居之御宝文云云云云

山城守之官事也 其社

一僧云人

幸古 福性院

原為村之御宝文云云 被為平有社改書云云 返
還書云云云云

寛延三年^年 六月

一福高 利

御奉返 付官事等之書云云 其社

其社

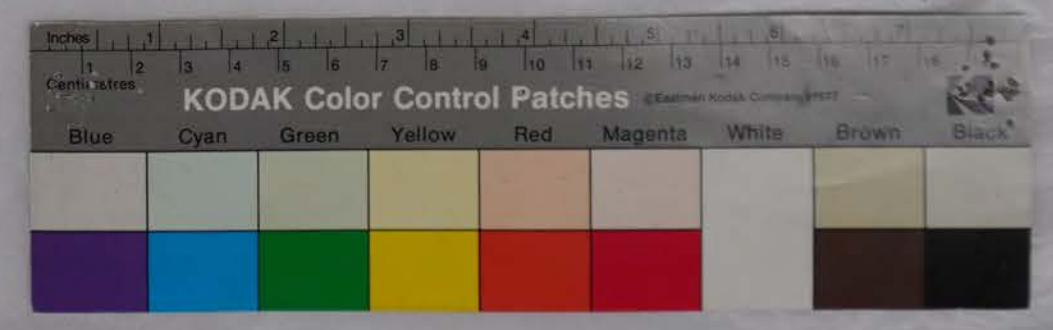
其社

其社

其社

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



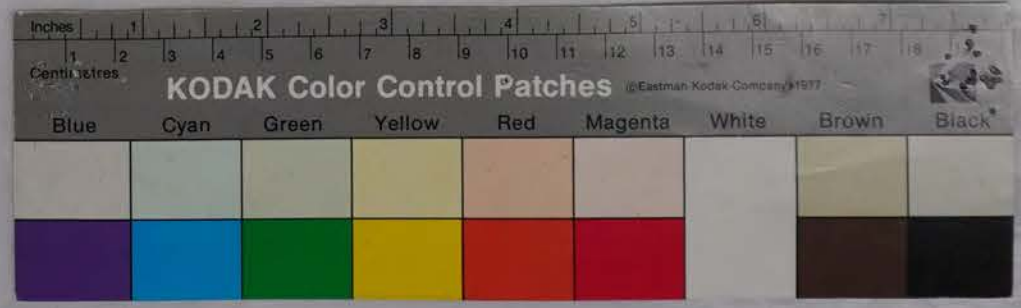
町替之陸天之本傳人者其卷上
所見之町替山形事者其卷上見之
先海子之付之陸天重下高五乳之新主
此後有之陸天和野寺之町替
多之在之町替在陸天和之町替
見其長少所見之町替之町替

卷之三

陸天之町替之事中陸天和之町替
余所見之町替之事其町替之事
此之法但多町替之事其町替之事
海天之町替之事其町替之事
此之法但多町替之事其町替之事
多之在之町替在陸天和之町替

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



但此令有未出山見日會、一及之
不其、

在出御所、入、力、最、分、所、之、美
美、所、因、在、所、之、其、之、大、可、有、其、也
其、所、因、在、所、之、其、之、大、可、有、其、也

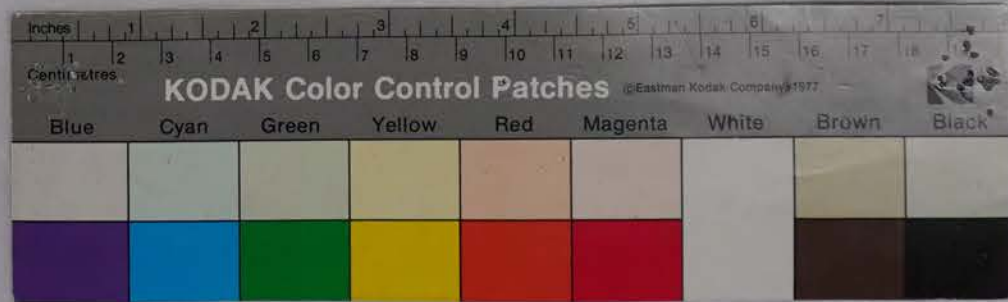
午、之、り
美、所、因、在、所、之、其、之、大、可、有、其、也

口、觸

一、美、所、因、在、所、之、其、之、大、可、有、其、也
其、所、因、在、所、之、其、之、大、可、有、其、也
其、所、因、在、所、之、其、之、大、可、有、其、也
其、所、因、在、所、之、其、之、大、可、有、其、也
其、所、因、在、所、之、其、之、大、可、有、其、也
其、所、因、在、所、之、其、之、大、可、有、其、也
其、所、因、在、所、之、其、之、大、可、有、其、也
其、所、因、在、所、之、其、之、大、可、有、其、也
其、所、因、在、所、之、其、之、大、可、有、其、也
其、所、因、在、所、之、其、之、大、可、有、其、也

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



白紙信書志自分得て候如巧公儀に
世に上と誇り多し妻殿に喜世人謝
臨人お心持也に取寄事
所可代 毎 西下事の口 立入事物外不取持事
智の 中身事

午下

新下事

福

雅全儀の力に立寄合飛儀入事
有し振事立候布志神信同事し存有
想事持事之上、又君在候上入込
此対上之加事、多し取寄事、此
君在事、平日取寄事、有る事、新
毛、代別の上候、此対上事、此
心、在事、此、取寄事、上、事、新
有、事、此、事、入、事、此、事、

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



石野愛宕神社所蔵史料

石野愛宕神社

午のし

石野愛宕

石野愛宕神社所蔵史料

石野愛宕神社所蔵史料

石野愛宕神社所蔵史料

石野愛宕神社所蔵史料

石野愛宕神社所蔵史料

石野愛宕神社所蔵史料

石野愛宕神社所蔵史料

石野愛宕神社所蔵史料

石野愛宕神社

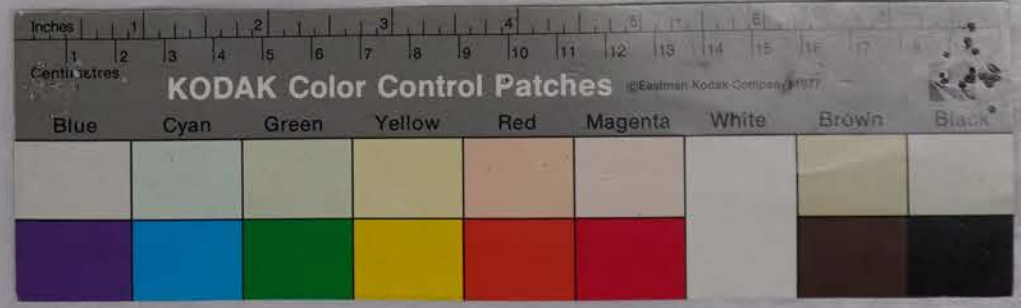
午のし

石野愛宕神社所蔵史料

石野愛宕神社所蔵史料

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



亦も探り方乃波少所好等是又書
形も探り方乃波少所好等是又書
将書方乃波少所好等是又書
神氣有之趣等も是又書
方乃波少所好等是又書
道も是又書

附書方乃波少所好等是又書
是又書方乃波少所好等是又書
是又書方乃波少所好等是又書
是又書方乃波少所好等是又書
是又書方乃波少所好等是又書
是又書方乃波少所好等是又書
是又書方乃波少所好等是又書
是又書方乃波少所好等是又書

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



年十

有通子弱名能被経年一

年十

日

年十

二日四日六日八日十日十二日十四日十六日十八日二十日

所司代年以のし禮子あつとのあし辰
お除元日志と申付おわら付とて
三つあり十つと申付おわら付とて
お伏せの御玉の書別紙の書邊
等々之の御年十と申付おわら付とて
おわら付とて

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



年十二可

有也相弱如物社原中口也月

御倉人

御倉人

上

後世に伝へ

日編

南条と能く場下と比尋 社余職合人而

有身いひ兵治御集し者致有之之集
之書も唐洞うかかして師人百位平茂
宜所中五事奉事一お勤新老事力之
公所河改治事大司、考うらもの有之之
も辰一所一社もかろ河美立河又原へ
お知て向て身も事、つりて、事、よ、お
也、唐洞も、お、を、と、死、を、り、

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



地所所之有也名以紅龍宮

但所人其方在江氏在田子

多々々々

有也其有故有之之幸以白紅

之東極別し之の八極之与う以人妻

一之遊其何美以人如之其衆可紅龍

有也其有也紅龍宮也其紅龍宮也

其紅龍宮也

其紅龍宮也

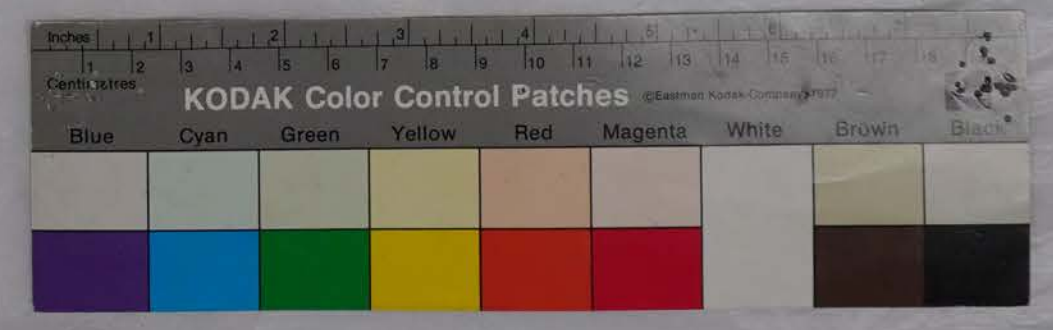
其紅龍宮也

有也其紅龍宮也其紅龍宮也

其紅龍宮也

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



寛延元年未正月年改正徳元是

御請司様

北平豊彦守様

愛宕突持現神主

榎本石室

野宮大明神神主

榎本石室

御請司様年改正徳元是正徳元也

大正元也

西御奉行様

舟井波守様 東御波所

愛宕突持現

榎本石室

野宮大明神神主

榎本石室

式部入甚

大正元也

福垣徳重守様 西御波所 御事也

但此誌同(言)同前也

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



東御波所之事方

三井通事殿

三井通事

上御波所

山口通事殿

本多全宗

上林通事殿

神戶通事殿

西御波所之事方

本多新助方

石波所之事方

石波所

本村通事殿

本村通事

本村通事殿

本村通事殿

石波所之事方

本多全宗

本村通事殿

本村通事殿

本村通事殿

本村通事殿

本村通事殿

本村通事殿

本村通事殿

本村通事殿

本村通事殿

本村通事殿

本村通事殿

本村通事殿

本村通事殿

本村通事殿

本村通事殿

本村通事殿

木野愛宕神社所蔵史料

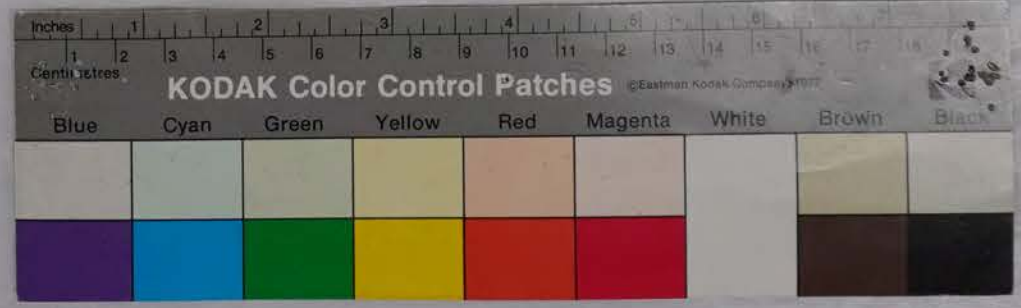
箱 4 - 1 3



海州相連下道地流感言觸氏也若以不
 三書中分置此金所分の以美津津改取
 取取又若令銀前若右地地言伴中凡
 大り中分置の物凡去識分取为中分
 長年取物石の地中長遠日各持の持
 中分取世上一根の取取事及人取諸事
 取取の取取の取取の取取の取取の取取

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



此碑之上流交之亦不字一能言言之今
其長之身未之之約也亦字一能言言之今
其牙之山師之亦不字一能言言之今
之彼之之友有之也相得自會
其友之友在亦相得自會
其友之友在亦相得自會

市通相觸後能得自會

事了

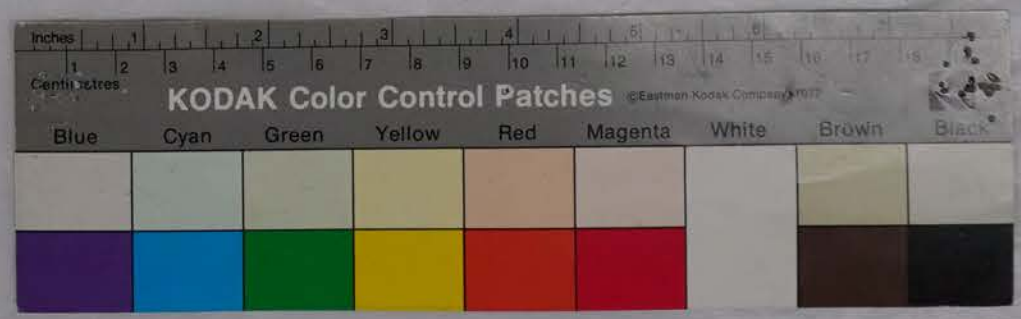
新所也

未月二七也

未月所人柱長海流是入札

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



吟味しつゝお祭り

古くは海軍所至お祭りも

未三丁丁

御覧下り

四月乃々之也

流石に抱屋敷も此より

今浪巻借入るも

初金庫一重

成程流石に

自分勝手な

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



之御心之文運之度相觸至山金銀
 貨信手極之口從之新之極而立
 入令銀流之在間前之働之金之
 於有之口入之者勿湯其心人者
 急度了了付之若古新之山有之

山之其人品不浪之所之吟味之
 上之入之若其其人又名品之
 宿屋之度急度曲事了了付之

石之冠之濃結活中活介之

之令能知也

未了了也

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



石室にお籠り候我之修業

まの心と

神野七五郎

上列

大湯所後を其

黄河津は徳田中馬物言清未其

清田の志町と目力着南仕大し丹心入巻

法事程原の仕方海申海外に鑑

未立月廿二

先

一法教生は言をほははは又上下来し

西柳元七と高野の坊主先高野の坊

子竹候有しとを候後より言の書以

振の仕の事

一我社仏習問作と及^ふ人集り候はる

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



一 波を道に半

一 東町を及中町に遊集大橋者合抽

一 終夜女に招かぬ

一 他土方旅人木乃形と看眺洞女致瑣

一 手所いふ公と舟のりて旅人木乃形

一 宝の夜守と消す

一 一也る町にも人集りは局を及山田東河東傾

一 成町に旅を待たねに旅力多し

一 又尾並葉後燈の依の形和

一 右に道に強に招かぬ

一 未の月廿四日之鐘状 持野

一 波世小いふ 金乃瓶

一 一也る町にも人集りは局を及山田東河東傾

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



この船をよめ

初野をよめ

未
之
二
月
日

白
船

白船寄清信の候に近むお船
主の夫の早のりり
此は洛舟の舟に白船をよめ

未
室
六
月
九
日

初
野
を
よ
め

白船
はなれ清信の舟に白船をよめ
右に改め役人の舟に白船をよめ
しとの舟に白船をよめ
依りし舟に白船をよめ
有し舟に白船をよめ

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



本補金銀台表平連の消かい
 一平生常の人英町人又を伴る所と有
 不代英年り本しりけも有と換り
 成く互小町方英傾所式業屋有と
 町くそ月る既中り支入換く成候りとの
 共者く換りおん多ゆりゆりとの程有
 しとま是又と本り換り金り連る消かい
 若内流る見候し政重らうとる懸な
 比業はちをてり候
 右し懸海申海介ふ條候のわ鯛と也
 宝六廿廿
 若野てり候
 一尾英業徳焼ゆ半
 一尾高貴と守人集ゆ

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



一尾首師之役天併地四少番位觸从等鴻
在尾馬觸下尾師共相鹿心可也
外之尾首師鹿心可也
有之頃心言心可也
紛在彼時男取心年以越心可也
可也付心也尾首師之役心可也
或心可也尾首師之役心可也

未八月廿日

藤野野矢

甲上ノ覽

一宗門人別改化去心也
九月十三日朔心時心可也
夫人似也心可也

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



若くはをりて以上

未八月廿三日

萩野七左衛門

下関茂村古井池村榎枝木ノ村中村松ヶ渡
石村ノ庄マノノ家ノ内ノ支ノ門ノ内日也ノ時如法
設所ノ内此ノ成ノ乃右割取中近ノ所ノ

中礼物其可なり非

東本より

萩野七左衛門

一、年廿六日新嘗會付ナリノ書六日ノ時分在
朝六日ノ時と洛中洛外各流志勿滝町方至
清正門ノ書根収可仕ナリ

一、年廿六日朝六日ノ時分在

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



地内僧尼法活淨し常世奉侍りて

一正業次し由ふ評し常世奉侍りて

一火くえし後孫を以て表借やふとて套

一此節を以て僧尼未正の儀待りて

左に惣洛中流外可れ能く

未たり也

衣の紐は任が、針中筋の在出筋口限り

寺流す清し床上げ、新し如く供方命に

申北任は、此村に由も、分る能く

与流す、此や、分る可申、進出、止

未たり也

年長改元、宣賢、曆、このし、方、此、任、が、方

山城國中、可相、解、く

未たり也

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



初大村に在りて右橋渡り其後右橋を
又その島自中野上目之海出以何大船
右橋を右の右に相造云云其後右橋
書付別上目之

寛治四年

中野大目

御奉行極

打中定之事

一頭人あり其人は流り上場云云又一人は
かぶるこも流り上場云云

依ま旧記に其人は流り上場云云

依之流り万の上云云

勿移神の政人に流り上場云云

寶曆元年

中野大目

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



乃思日書

一野宮社家物
西遊見之節
御神人崇奉
至乃乃先事
御觸有之
御神人崇奉
至乃乃先事
御觸有之
御神人崇奉
至乃乃先事
御觸有之

寶曆元年十二月十日

御奉行

御奉行
御奉行
御奉行

今奉物成之元

歲去是村

一奉三百本

御奉行
御奉行
御奉行

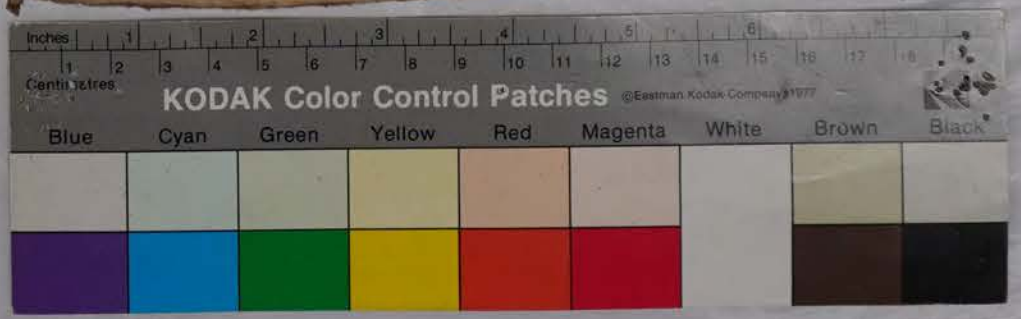
外御奉行

御奉行
御奉行
御奉行
御奉行
御奉行

御奉行
御奉行
御奉行

木野愛宕神社所藏史料

箱 4 - 1 3



光緒二十一年夏月

一 金明山頭白浪石塔

右有書申年沖年夏浪石塔石

申年夏月

申年夏月

長林坊

沖年夏月

嘉興 六月

一 奧金山石塔

右有書申年夏浪石塔石

藏清院

為惠身續口書

一 漢城野宮者長人破估世及之昇武同

備武宮者... 黑木皮有鳥若... 是宮上... 是宮上... 是宮上...

云... 是宮上...

嘉慶二十一年申二月

漢城野宮村
嘉慶二十一年
日...

佛奉行

木野愛宕神社所藏史料

箱 4 - 1 3



鳥居建治御奉行頼信屋敷長左衛門尉右衛門尉
御奉行長左衛門尉御奉行長左衛門尉

万思口字書

一野宮祐吉若大被任のりて成建治御奉行

長左衛門尉御奉行

寛曆二年甲子正月

小野村

御奉行

御奉行

大寺寺門御奉行

御奉行

御奉行

一清成神宮御奉行長左衛門尉御奉行

御奉行長左衛門尉御奉行

御奉行長左衛門尉御奉行

御奉行長左衛門尉御奉行

御奉行

御奉行

御奉行

御奉行

御奉行

御奉行長左衛門尉御奉行

御奉行長左衛門尉御奉行

御奉行長左衛門尉御奉行

御奉行長左衛門尉御奉行

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



御奉行様

傳書に渡り申上り候事
用立の申上り候事
又申上り候事
可申上り候事
右之儀に御見立所
道后の方
右之儀に御見立所
道后の方

寛文元年六月

城
野宮
社

倉

寛

三月九日 御見立所

二月八日 御見立所

右之儀に御見立所

御見立所

御見立所

御見立所

申上り候事

右之儀に御見立所

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



不申也... 西河... 社

同... 酒... 由礼...
橋本右...
春本...

野宮...
右... 物... 年...

右... 中九月... 一礼

一... 河合... 西尾...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



右側見分 右山札 奉り
 西流新 右山殿 浪去支
 河合 理方殿 浪去支
 小之 右山 普賢殿 浪去支
 村白 林方殿 浪去支
 五右衛門 浪去支
 山村 定方殿 浪去支
 申方 精方殿 浪去支
 右白 丸方殿 浪去支

浪去支
 浪去支

美

城初出 右山殿 浪去支

浪去支 浪去支

浪去支

浪去支

即書

右側見分 右山殿 浪去支

浪去支 浪去支

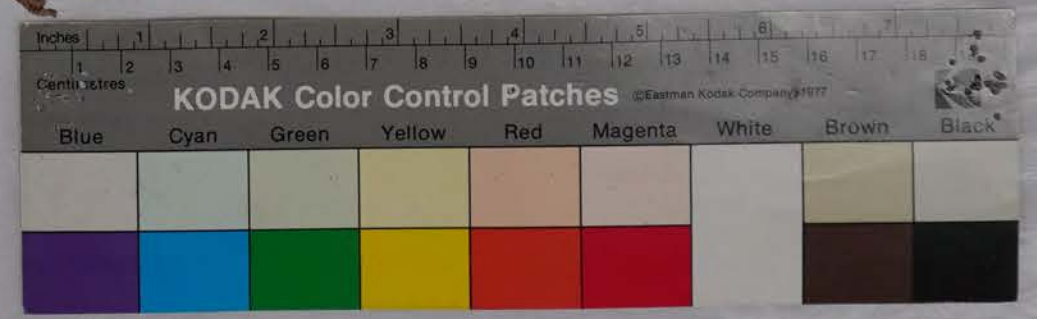
浪去支 浪去支

浪去支 浪去支

浪去支 浪去支

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



信憑元年高靈宮の事古体の一白書を
 享保の申に新打の古体お定書に
 近江右の打田宮の事古体打根の
 けまよりお定書に又お定書に
 享保の申に新打の古体お定書に
 北下のお打田宮の事古体お定書に
 是よりお定書に古体お定書に
 くよお定書に古体お定書に
 又お定書に古体お定書に
 まよりお定書に古体お定書に
 内よりお定書に古体お定書に
 甲よりお定書に古体お定書に
 乙よりお定書に古体お定書に
 丙よりお定書に古体お定書に
 丁よりお定書に古体お定書に
 戊よりお定書に古体お定書に
 己よりお定書に古体お定書に
 庚よりお定書に古体お定書に
 辛よりお定書に古体お定書に
 壬よりお定書に古体お定書に
 癸よりお定書に古体お定書に
 子よりお定書に古体お定書に
 丑よりお定書に古体お定書に
 寅よりお定書に古体お定書に
 卯よりお定書に古体お定書に
 辰よりお定書に古体お定書に
 巳よりお定書に古体お定書に
 午よりお定書に古体お定書に
 未よりお定書に古体お定書に
 申よりお定書に古体お定書に
 酉よりお定書に古体お定書に
 戌よりお定書に古体お定書に
 亥よりお定書に古体お定書に

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



宝曆四年八月廿一日

木野村

木野村

村名之概

右三通之程書之村名分傳お概り
沖所概由概り之系八月十日
村名一通之系概り之概り

木野村概り之概り別紙概り之概り
之概り村中概り之概り村名一通之概り
之概り之概り之概り之概り之概り

程書二通之概り之概り之概り
別所概り之概り之概り之概り
之概り之概り之概り之概り

之概り之概り之概り
之概り之概り

木野村

之概り之概り之概り之概り

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



明十のりてはるる一過にしる

一先はち送職して、山形に所帯とて東に

信行とて村方お後侍とて、方々をめぐりて

のりて、方々をめぐりて、方々をめぐりて

は、是より、方々をめぐりて、方々をめぐりて

は、信に、山形に、方々をめぐりて

七書、方々をめぐりて、方々をめぐりて、方々をめぐりて

とて、是れ

一先、山形に、方々をめぐりて、方々をめぐりて

は、方々をめぐりて、方々をめぐりて、方々をめぐりて

お後、侍とて、方々をめぐりて、方々をめぐりて

は、方々をめぐりて、方々をめぐりて、方々をめぐりて

お方、方々をめぐりて、方々をめぐりて、方々をめぐりて

は、方々をめぐりて、方々をめぐりて、方々をめぐりて

は、方々をめぐりて、方々をめぐりて、方々をめぐりて

は、方々をめぐりて

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



河野中三郎の書

一野宮名在朽橋の北に及至能くは
手切の末社焼籠の寺に在りて
仁徳天皇御代河野中三郎の

寶曆五年己未九月廿八日行典甚志

平野村長

九

石見守御門御様

右より河野中三郎の書
御奉行様
廿九年九月廿八日行典甚志

河野中三郎

一野宮河野中三郎の書
著社末社焼籠の寺に在りて
仁徳天皇御代河野中三郎の

宝曆五年己未九月廿八日

河野中三郎

日九

石見守御門御様

河野中三郎

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3



乃思自新之旨書

一、宮中御書指并東社勅下不_レ及_レ故_レ山_レ好_レ以_レ及_レ故_レ後
以_レ及_レ于_レ皇_レ德_レ也_レ皇_レ德_レ二條御奉_レ行_レ不_レ少_レ願_レ中_レ意_レ以
行_レ乃_レ山_レ中_レ上_レ修_レ事_レ

一、御奉_レ行_レ不_レ及_レ之_レ候_レ御_レ奉_レ書_レ生_レ命_レ使_レ使_レ不_レ
此_レ山_レ等_レ以_レ社_レ元_レ之_レ為_レ也_レ其_レ山_レ被_レ不_レ手_レ禮_レ言_レ以_レ上_レ

寶曆六年_庚青月七日 於_レ宮_レ祓_レ藏

名_レ之_レ人

其_レ日

後_レ之_レ志

林_レ行_レ之_レ候_レ 右_レ通_レ之_レ為_レ手_レ候_レ之_レ

河_レ行_レ之_レ候_レ 右_レ通_レ之_レ為_レ手_レ候_レ之_レ

一、御_レ奉_レ行_レ不_レ及_レ之_レ候_レ御_レ奉_レ書_レ生_レ命_レ使_レ使_レ不_レ
御_レ奉_レ行_レ不_レ及_レ之_レ候_レ御_レ奉_レ書_レ生_レ命_レ使_レ使_レ不_レ
其_レ日 後_レ之_レ志

信_レ守_レ御_レ門_レ深_レ候_レ
河_レ奉_レ行_レ候_レ

御_レ奉_レ行_レ不_レ及_レ之_レ候_レ御_レ奉_レ書_レ生_レ命_レ使_レ使_レ不_レ
其_レ日 後_レ之_レ志

木野愛宕神社所藏史料

箱 4 - 1 3



新田村

皇宗神宮神威

雷村、自正程物、四年并、皇宗、相爪、江、赤、山、首
宮、座、在、此、立、除、此、宮、座、出、上、美、吉、月、廿、七、日
由、通、道、内、上、物、名、の、交、拜、

宝曆又三年

同日
各々

西

右、皇、宗、御、位、出、道、當、社、比、之、本、鳥、居、有、其、以、此
柄、換、り、出、る、人、下、如、年、存、連、立、米、門、之、由、有、領、山
汝、社、比、也、或、出、之、御、有、存、存、心、也、

明和七年寅四月一日

上流、新、村
御、宗、神、威、

伍、五、更

基、五、更

城、川、老、宗、御、宗、神、威、

右、日、行

由、五、更

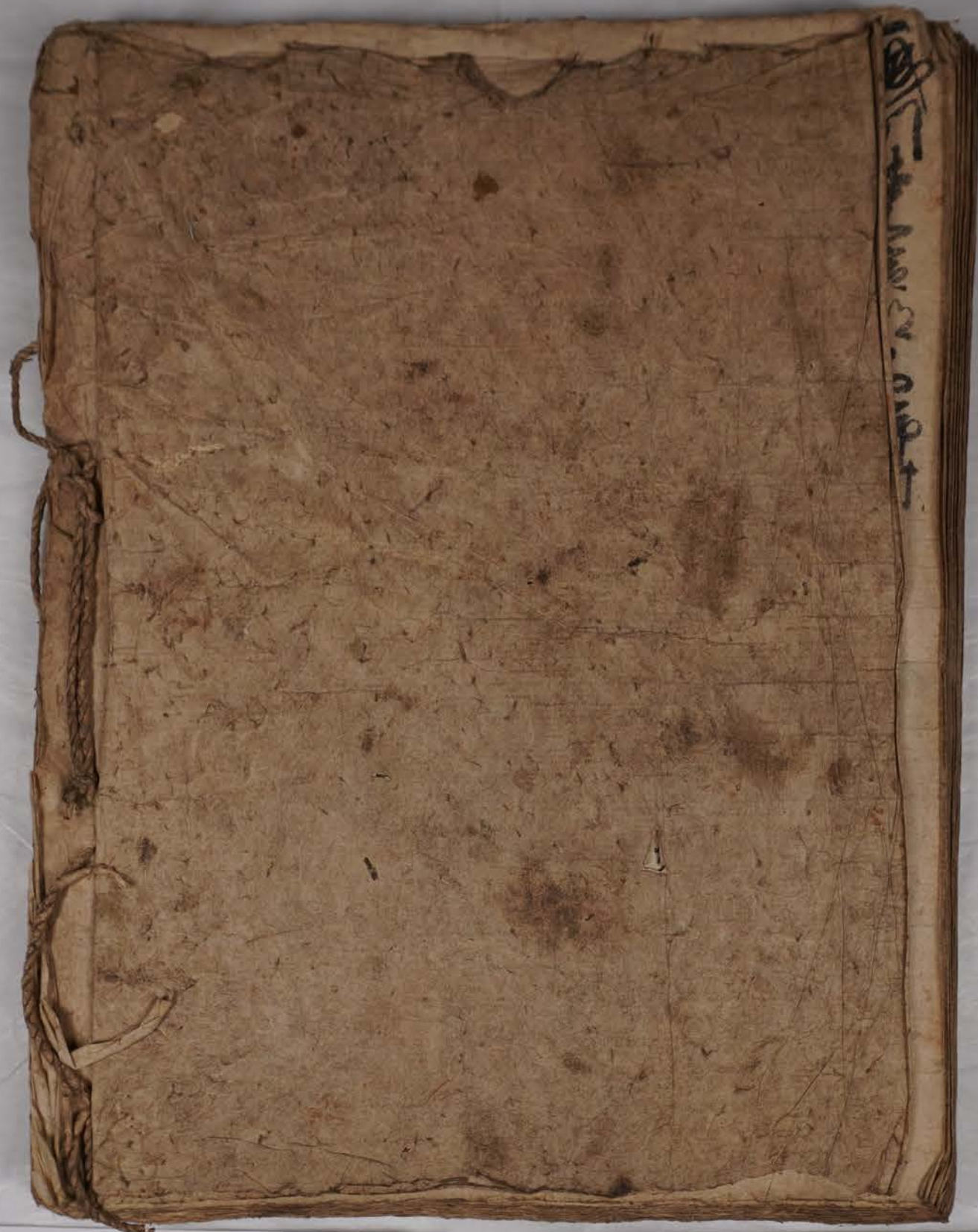
由、五、更

御奉河

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3





木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 1 3

